

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）タカサキケイザイダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ミズグチゼミ
高崎経済大学	経済学部	水口ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ツッキー	フリガナ）ツキオカ ショウ	5	無
つッキー	月岡 詳		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）
地域ごとの洪水対策に田んぼダム

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年、地球温暖化による異常気象等の影響により、水害による被害の増加が懸念されている。その対策として、田んぼダムというものが存在している。私たちは、茨城県に多く存在しているレンコン畑に着目し、この技術を利用して水害を抑制できるのではないかと考えた。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

まず、2015 年に鬼怒川の堤防決壊によって死者二名、負傷者 40 名以上の人的被害の他、家屋 5,000 棟以上の全壊、半壊に加えて、発電所の損傷により、停電が起きるといった被害が発生している。こうした事例に加えて、国土交通省国土技術政策総合研究所気候変動適応研究本部の気候変動適応策に関する研究 2013 によると、すべての地域において、1 時間に 50 ミリを超える強雨の頻度が増加し、強い台風が接近する回数も増えるとしており、また、日本の平均気温は 20 世紀末に比べて 2.1～4.0 度上がるとされている。この影響によって今世紀末には大雨の増加により河川の洪水リスクが 1.8～4.4 倍になると予測される。

3. 研究テーマの課題

- ① 設置に際して住民の理解が得られるかどうか
- ② 設置費用の負担
- ③ 排水の環境に対する影響

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

- ① 住民に対して自治体が説明会、講習会を開き、理解を得てもらう。これにより、住民に防災意識を持ってもらう。
- ② 自治体が補助金を出すことで設置を促進していく。
- ③ 濾過や土壌処理、植生浄化による直接浄化や微生物の浄化促進、藻類等の成長阻害によって水質改善を図る薬剤散布が挙げられる

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、元々水リスクに関する研究を進めており、その中のリスクの一つである洪水被害に関心を持った。そこで洪水被害への対策について調査をしていくと田んぼダムというものに行き着いた。この田んぼダムへの調べを進めていくうちに、この技術を他の作物にも利用できないだろうか考えた。そして、各地域の特性を生かした洪水対策を進めることで、全国的に洪水被害を抑制することができるのではないかと仮説のもと、まずは、鬼怒川による洪水被害を受けた茨城県に着目し、この地域の特産品であるレンコンを利用した洪水被害対策を提案することにした。

6. 結果や今後の取り組み

茨城県におけるレンコン畑のように、田んぼダムの技術を利用することで、その地域ごとの特性を活かした洪水対策ができるか、実際にすることはできるのかを模索していきたい。そして、その研究成果を活用し、日本全体においても洪水による被害の減少を図ることができるのではないかと考えている。

7. 参考文献

独立行政法人農畜産業振興機構『れんこんの需給動向について』（2016年）

農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/

吉川 夏樹『田んぼダムによる潟への土砂堆積抑制に関する研究』（2011）

http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/kataken/kataken_kankoubutsu.files/27natsuki_yoshikawa.pdf

見附市ホームページ <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/6568.html>

JA 土浦ホームページ <http://www.ja-tsuchiura.com/cgi-local/kanrisys/newsview.cgi?no=4>

農林水産省『平成28年産指定野菜（春野菜、夏秋野菜等）の作付面積、収穫量及び出荷量』

http://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/sakumotu/sakkyou-yasai/yasai_syunka/h28/index.html

吉川夏樹『田んぼダムの全国展開の可能性－取組普及にかかる政策的課題－』

<http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jsidre/search/PDFs/13/13S01-03.pdf>

新潟県ホームページ <http://www.pref.niigata.lg.jp/nosonkankyo/1285704028085.html>

関東農政局 <http://www.maff.go.jp/kanto/kids/prefecture/ibaraki.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、

A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください